

# 会員だより

## 茶臼山の桜の下で(句)

寒暖の差の激しい3月を過ぎて、やっと桜の季節がやって来ました。施設の好例の花見が計画され、三日間のうちの最終日に私も参加しました。明日は雨の予報で朝から曇り空でした。場所は天王寺公園と言うことでしたが、茶臼山の下の公園でした。私は最近足の調子が悪く、歩行器を押しての参加となりました。公園まではタクシーです。



桜越しにアペノハルカス

茶臼山の麓にある水底池という池のほとりに池を囲んで桜並木が続いています。丁度満開で見ごろです。へルパーさんのお話では昨日、一昨日はお天気だったけど、まだ満開ではなかったというので、ああ、よかったとみんな喜びました。早速桜の下でお弁当をいただきました。



茶臼山の水底池茶臼山

「なだ万」のお弁当とても美味しく、みんなで思いつき話などを楽しみ語り合いました。花見酒のないのが、下戸の私でも少し残念。というところでした。

池には前にはなかったという噴水があり、水鳥が泳いでいました。実は私は何となく鳥が知らなかったのですが、同行のかたの1人が一句詠まれて知りました。でも鴨だったのかどうか。池を

一羽となりて

残る鴨

また一人の方が

満開の

桜ときそ

ゆきやなぎ

私もつられて一句

老いたちが

集い語りて

花の下

お天気も曇り勝ちとはいえ、雨にはあわず最高のお花見でした。

記・写真：牧戸富美子

## VG概輪のパソコン教室の報告

VG概輪のパソコン教室の開設は、今から13年前(平成16年初頭)、当時の高槻市市民公益サポートセンター長の宮津氏から、高槻市からの依頼で、パソコンを持つているが、使えない人に教えて欲しいという依頼がありました。



大冠パソコン教室 受講生との親睦会 2006年11月4日

サポートセンター会議室(西冠小学校敷地内)で開講の検討と準備を始めました。

準備中に受講希望者が、早く開講してほしいとの要求がよせられ、急遽平成16年7月から12月までの6ヶ月コースを開講することになりました。次年度早々(平成17年)、元清水コミュニティセンター館長の平田庭一氏から、清水コミュニティセンターでのパソコン

ン教室開設を強く求められました。開設に当たって要求は

- ①パソコンを初めて使う初心者から教えて欲しい。
- ②3か月で、年賀状が作れるくらいにして欲しい。
- ③同好会ではなく、パソコン教室として欲しい。

3か月で年賀状の作成は良いとしても、パソコンの機能、精度が高度化し、パソコンが使用できるようになるには最低6か月が必要な事を説明させて頂きました。このような事からパソコン教室初級コースは6か月と決まり、平成18年下期から開講致しました。

- ①個々のパソコンが違い、各人の最初の技能が違う。
  - ②さらに、OS(基本ソフト)や応用ソフトが違う。
  - ③さらに受講者全員がパソコンが使えない様になってほしいと先生を2人制にしました。
- 年々受講希望者が多くなり、翌年には2クラスになりました。平成18年には、天川新町自治会から、清水コミセンと同様の教室を開いて欲しいとの話もあり、平成19年上期から天川新町公民館でも開講しました



天川新町公民館パソコン教室

その後、初級修了者からの強い要求により、平成19年には、中級(パソコンOB会)を開講することにしました。今までのパソコン受講者は二百人を超えました。

今後、パソコンは年々性能が格段に良くなり、小型・軽量化し、クラウドサービスの活用で日常生活の必需品になって行くと思います。東京大学大学院情報学環教授の橋元良明先生は次のように言っておられます。高齢者はIT(情報技術)が苦手」という認識は、改める必要がある。すでに60代の半数以上がインターネットを利用し、ショッピングやコミュニケーションの手段として使いこなしている。ITを使いこなすデジタルシニアが増えてくれば、彼ら

の知恵を生かす新ビジネスやシニア層の在宅就労も増えてくること。

## パソコンは

### ボケ防止になるの!!

パソコンの入力で指先を使うことは、あやとり同様に頭を使って、なおかつ手を動かしているわけで脳のトレーニングになるとの事です。前頭葉が活性化します。インターネットなどいろいろな利用が考えられますが、自分から興味をもって、



パソコンOB会修了作品発表会

ろいろ検索し、自分の作品を創作することは脳の血流が活発になり、ボケ防止になるとの事です。VG概輪では、一人でも多くの方に、パソコンが使える様になって、楽しく作品作りを続けて欲しいと願っています。

記：大岡成一